

## 平成20年度 オール東京62市区町村共同事業

## 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」実績報告書

(単位：円)

事業名	実績額	主な事業内容
〔1〕CO <sub>2</sub> 削減につながる活動の普及・省エネ促進・温室効果ガス排出抑制		
1. 共同事業普及・啓発	7,515,812	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パンフレットの作成</li> <li>●共通啓発物品の作成(しおり付カード型種子、省エネマグネット) ※別紙1</li> <li>●環境アニメDVD「かれんと不思議の森」(字幕付) 配布</li> </ul>
2. 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進	17,748,975	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「特別区版」を「区市共通版」に拡充 ※別紙2</li> </ul>
3. 省エネチャレンジ	14,266,944	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学6年生(原則)を対象に家庭での環境負荷低減活動を実施 ※別紙3</li> </ul>
〔2〕みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築		
1. ホームページの充実	808,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>●62 市区町村の連携を深めるため情報を共有化し内容を充実</li> </ul>
2. 市区町村職員共同研修の実施	899,017	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講座：「地球温暖化と省エネルギー」「東京のみどりの保全と創造」</li> <li>●講演会：「大江戸えねるぎー事情」</li> </ul>
〔3〕人々が環境を考え、行動できる場の設定		
1. みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付	61,763,206	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市区町村が独自に実施する自然環境保護、地球温暖化防止事業に、1 市区町村100 万円を限度として助成金を交付。</li> </ul>
2. みどり体験交流事業	52,121,678	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然環境に対する理解を深めるとともに、自然の中での集団生活を通して子どもたちの健全な成長を促すことを目的として「海・山・里・都市の体験事業」を実施。 ※別紙4</li> </ul>
3. みんなで環境を考える共同行動の実施	10,344,285	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シンポジウム「みんなで考えよう温暖化」の開催 ※別紙5</li> <li>●環境事業の実施状況を調査</li> </ul>
合 計	165,468,417	

共通啓発物品の作成

○内 容 「かれんと不思議の森」のキャラクターを使った、オリジナルの「しおり付カード型種子」を作成し、市区町村のイベント等で配布した。なお小笠原村に対しては生態系保全のため別途「省エネマグネット（温度計）」を作成した。配布数は「共通啓発物品およびパンフレット配布数」とおり。



しおり付カード型種子



省エネマグネット

○効 果 市区町村のイベントや公共施設等における啓発物品の配布を通して、Eプロの周知を図ることができた。

○実施時期 第1回 しおり付カード型種子 平成20年6月  
 第2回 しおり付カード型種子 平成21年2月  
 省エネマグネット 平成21年3月

## 温室効果ガス排出量標準算定手法の共有化推進

### (1) 温室効果ガス排出量標準算定手法（区市共通版）の作成

○内 容 平成 18 年度に作成された特別区版の温室効果ガス排出量算定手法を基礎として、この手法を市部にも適応するよう調整を図り、区市共通版の温室効果ガス排出量標準算定手法を作成した。

なお本手法の検討および排出量の算定は、26 市と瑞穂町が参加して行った。

### ○担当者会議

	日 時	主な検討・報告事項	場 所
第 1 回	平成 20 年 6 月 9 日(月) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量算定手法共有化の概要</li> <li>調査の進め方、スケジュール、アンケート実施</li> </ul>	東京自治会館
第 2 回	平成 20 年 9 月 1 日(月) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果</li> <li>算定手法の変更部分</li> <li>算定における確認事項</li> </ul>	
第 3 回	平成 20 年 11 月 7 日(金) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量標準算定手法共有化(暫定版)に関する説明</li> <li>東京都へのデータ依頼</li> </ul>	
第 4 回	平成 21 年 2 月 26 日(木) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量算定暫定数値</li> </ul>	

### (2) 温室効果ガス排出量（1990 年度～2006 年度）の算定

○内 容 平成 20 年度に作成した、区市共通版の温室効果ガス排出量標準算定手法に基づき、23 区、26 市、1 町の温室効果ガス排出量を算定した。

### ○説明会

	日 時	場 所
特別区	平成 21 年 4 月 23 日(木) 15:00 4 月 24 日(金) 15:00	東京区政会館
市・町	平成 21 年 4 月 17 日(金) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30	東京自治会館

## 省エネチャレンジ

○内 容 東京都内の小学校を対象に、児童が各家庭において、12月は普段どおりの生活、1月は省エネを心がけた生活を送り、環境負荷低減活動に取り組む中で、自分たちの暮らしと環境へ与える負荷との関係を学び、また、どれだけCO<sub>2</sub>が削減できるかを学年もしくは学級単位で取り組む事業を実施した。

○効 果 次世代を担う多くの子どもたちに、地球温暖化防止に興味、関心を持つきっかけを提供することができた。

○実施結果 【参加校数及び人数】

105校（118チーム） / 3,726名

【CO<sub>2</sub>削減量及び削減率】

10,217.7Kg / 0.7%

【受賞校】

第1位	墨田区立立花吾嬬の森小学校 (立花吾嬬の森小学校6年2組チーム)	削減率 22.5%
第2位	国分寺市立第七小学校	削減率 18.7%
第3位	世田谷区立東玉川小学校 (東玉川小学校6年生チーム)	削減率 15.3%
特別賞	渋谷区立笹塚小学校 (笹小4-1チーム)	先進的、ユニークな取り組みで 成果を上げた学校(チーム)
〃	東大和市立第十小学校	〃
〃	荒川区立瑞光小学校	児童参加率100%で取り組み、 成果を上げた学校(チーム)
〃	立川市立若葉小学校	〃
〃	檜原村立檜原小学校	〃

※ 平成21年3月14日(土)に開催した本プロジェクトのシンポジウムの席上において表彰式を行った。



## みどり体験交流事業

○内 容 都内在住の児童を対象に、自然環境保護や地球温暖化防止に関する体験型の環境教育を実施した。都内 14 箇所において、日帰りまたは宿泊で全 14 回、参加者 408 人で行った。参加人数等は下表のとおりである。

○効 果 体験学習によって、子どもたちに自然環境や地球温暖化について、身近に感じさせ、考えさせ、自然環境を保護する大切さを実感させることができた。

また、山や海などの自然環境が豊かな地域や自然を守ることを実践している都市での集団生活を通して、子どもたちの健全育成に寄与することができた。これらの活動を通して、62 の市区町村が連携して事業を行うシステム作りなど、連携事業の精度を高めた。

○実施期間 平成 20 年 7 月 25 日～平成 20 年 12 月 25 日

○参加人数等

体験事業		実施日	対象	期間	定員	参加者数	参加率
山の体験	青梅市	9/27～28	小 3～4	1泊2日	30人	29人	96.7%
	檜原村	8/11～13	小 4～6	2泊3日	30人	30人	100.0%
	奥多摩町	7/25～27			30人	30人	100.0%
里の体験	八王子市	7/28～30	小 4～6 と保護者	1日	80人	81人	101.3%
	昭島市	9/13			30人	23人	76.7%
	日野市	10/13	小 4～6 と保護者	30人	28人	93.3%	
	あきる野市	10/5	小 4～6	30人	14人	46.7%	
海の体験	新島村	8/3～6	小 5～6	3泊4日	30人	31人	103.3%
	神津島村	8/24～27			30人	30人	100.0%
	三宅村	8/18～21			30人	28人	93.3%
都市 <small>まち</small> の体験	新宿区	10/11	小 4～6 と保護者	1日	40人	19人	47.5%
	板橋区	8/9			40人	18人	45.0%
	江戸川区	8/23			40人	33人	82.5%
	三鷹市	12/25			50人	14人	28.0%
計					520人	408人	78.5%

## シンポジウム「みんなで考えよう温暖化ー青い地球を守るためにー」の開催

- 内 容 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」シンポジウムの開催
- 効 果 これからの地球を担う子どもたちとともに温暖化を考え、青い地球を守るためにどんな行動をしなければならないかを実感してもらった。
- 実 施 日 平成21年3月14日（参加者213名）



多田 江戸川区長の開会挨拶



基調講演 講師：アグネス・チャン氏



パネルディスカッションの様子



青木 日の出町長の閉会挨拶

## ○プログラム

- ① 第17回地球環境映像祭にて入賞した「かれんと不思議の森」の上映
- ② オール東京62市区町村共同事業「省エネチャレンジ」表彰式
- ③ アグネス・チャン氏による基調講演  
「水の惑星に生まれて」～美しい海と森について～
- ④ パネルディスカッション

- ・ 共同事業推進会議 会 長 多田正見 江戸川区長
- ・                   "           副会長 黒須隆一 八王子市長
- ・                   "           副会長 青木國太郎 日の出町長
- ・ 成城学園初等学校教諭 飯沼慶一氏
- ・ 歌手・教育学博士 アグネス・チャン氏
- ・ 省エネチャレンジ受賞者の子どもたち3名

をパネラーとして迎え、「かけがえのない地球を守っていくには、どのような行動をしていくのか」をテーマに千葉商科大学教授の宮崎緑氏のコーディネートで活発な意見の交換の場となった。